Ｓ－Ｐ表を活用した授業改善に向けて（国語Ａ）

6年1組　国語Ａ　Ｓ－Ｐ表

ポイント

平均正答率だけでは把握できない学校や学級全体の課題の傾向や，個々の児童が理解していない可能性が高い設問を見つけ，授業改善プランにつなげましょう。

問題番号				1	6	8ｳ	8ｲ	4	3	2	8ｱ	8ｴ	7	8ｵ	5		
区分・領域等				A	D	D	D	C	C	B	D	D	D	D	D		
問題の概要				図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	文の中で漢字を使う（しょう毒）	文の中で漢字を使う（せつ備）	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に，その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ，【オムレツのページ】をどのように読めばよいか，適切なものを選択する	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	文の中で漢字を使う（せい造）	文の中で漢字を使う（かん理）	【話を聞いている様子の一部】の「ア」，「イ」に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	文の中で漢字を使う（せっ極的）	【春休みの出来事の一部】の中で，点線部と実線部とのつながりが合っていない文を選択し，正しく書き直す		
全国（公立）の正答率				50.1	49.9	49.9	49.9	49.9	49.9	49.8	49.8	49.8	49.7	49.7	49.6		
正答人数の割合				95.5	95.5	81.8	90.9	81.8	95.5	86.4	86.4	86.4	95.5	81.8	72.7		
正答人数				21	21	18	20	18	21	19	19	19	21	18	16	合計	
学年	組	出席番号	氏　名	解答類型（"0"は無回答を表す）												正答数	正答率
6	1	13	篠崎 道貴	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	12	100.0
6	1	11	福本 健児	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	12	100.0
6	1	10	河原 唯	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	12	100.0
6	1	6	湯浅 理香	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	12	100.0
6	1	8	藤田 沙耶香	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	12	100.0
6	1	20	宮崎 一馬	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	2	11	91.7
6	1	12	山村 梨恵子	4	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	1	11	91.7
6	1	2	西村 亜衣	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	3	11	91.7
6	1	18	林田 信人	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	2	11	91.7
6	1	19	長岡 益三	2	3	1	1	2	1	1	1	2	1	4	1	11	91.7
6	1	14	三浦 三男	2	3	1	1	2	1	3	1	2	2	4	1	11	91.7
6	1	17	木村 昭良	2	3	1	1	2	1	1	1	2	2	4	3	11	91.7
6	1	9	中田 雅美	2	3	1	1	1	1	1	1	2	2	4	3	10	83.3
6	1	3	三木 宏弥	2	3	5	1	2	1	3	1	2	2	4	1	10	83.3
6	1	15	平山 真希	2	3	1	1	4	1	1	1	3	2	4	1	10	83.3
6	1	5	岡部 一馬	2	3	5	1	2	1	1	1	3	2	4	1	10	83.3
6	1	22	大崎 広重	2	3	5	1	2	1	1	1	2	2	1	1	10	83.3
6	1	16	吉原 鋼三郎	2	3	1	1	4	3	1	1	2	2	4	2	9	75.0
6	1	7	川崎 哲昭	2	3	1	1	2	1	2	3	2	2	1	1	9	75.0
6	1	4	足立 洋和	2	3	4	3	2	1	1	3	2	2	4	1	9	75.0
6	1	21	町田 絵美	2	3	1	2	2	1	1	1	1	2	1	1	9	75.0
6	1	1	古田 佳江	2	1	1	1	4	1	1	3	2	2	3	1	8	66.7

Ｐ曲線（赤色実線）が全国正答率の線（赤色点線）よりも高い位置にある問題：学校全体で正答率が低い問題＝学校全体として「重点的に指導すべきと考えられる問題」

Ｓ曲線（青線）より左側にある誤答	🟨	：当該児童にとって正答が比較的容易だったと考えられる問題
Ｓ曲線（青線）より右側にある誤答	🟧	：当該児童が理解していない可能性が高い問題＝当該児童に対し「重点的に指導すべきと考えられる問題」

STEP1

Ｓ曲線（児童）から見た学級の実態

Ｐ曲線（問題）から見た学級の実態

STEP2

Ｓ曲線（児童）から見た指導上の課題

Ｐ曲線（問題）から見た指導上の課題

STEP3

議論しよう！

授業改善プラン